

事務事業名	敬老祝金支給事業		<input type="checkbox"/> 施設上の主要事業	法令根拠
政策名	総合計画 06	誰もが自立し、社会参加できる福祉環境づくり	所属部門	住民福祉部 保健福祉課 福祉グループ
施策名	計画 14	地域で支え合う福祉社会の実現	課長名	江口 久子
基本事業名	体系 33111	福祉意識の高揚	予算科目	会計 款 項 目 事業 1 3 1 4 敬老事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 昭和39 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)			

事業概要	全体計画 (単位:千円)																
社会に貢献した高齢の町民に対し、敬老祝金を贈呈し、その長寿を祝福するとともに多年の労をねぎらい、併せて町民の敬老思想の高揚を図ることを目的としています。贈呈対象者は当該年度の9月15日に芽室町に住所を有する方で喜寿(77歳)、米寿(88歳)の年齢に達する方と当該年度の誕生日の前日に芽室町に住所を有する方で上寿(100歳)を迎えられる方に敬老祝金を贈呈します。	<table border="1"> <tr><td>特定財源</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td></td></tr> <tr><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td>人件費</td><td></td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td></td></tr> <tr><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td></td></tr> </table>	特定財源		一般財源		その他		事業費計(A)		正規職員従事人数		人件費		人件費計(B)		トータルコスト(A)+(B)	
特定財源																	
一般財源																	
その他																	
事業費計(A)																	
正規職員従事人数																	
人件費																	
人件費計(B)																	
トータルコスト(A)+(B)																	

1 現状把握の部 (DO)																																	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)																																	
<p>16年度実績 広報情報係に対象者の抽出を依頼する。敬老祝金の受取書を作成し対象者に送付する。祝金袋と祝金の用意をする。敬老会開催数日前に祝金袋に現金を入れて、敬老会当日支給する。</p> <p>17年度計画 平成16年度と同様</p> <p>対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 喜寿・米寿・上寿対象者</p> <p>意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 自らの生活向上の意欲を促し、今後もより一層町の発展に貢献してもらう</p> <p>結果(どんな結果に結び付けるのか) これからも元気で長生きして行こうという気持ちになる</p>	<p>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない</p> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 敬老祝金準備にかかる日数</td><td>日</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table> <p>対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない</p> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 喜寿の人数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ 米寿の人数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ 上寿の人数</td><td>人</td></tr> </table> <p>成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない</p> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 喜寿祝金を受け取った人の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ 米寿祝金を受け取った人の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>ウ 上寿祝金を受け取った人の割合</td><td>%</td></tr> </table> <p>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない</p> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア これからも元気で長生きしようと思った人</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 敬老祝金準備にかかる日数	日	イ		ウ		名称	単位	ア 喜寿の人数	人	イ 米寿の人数	人	ウ 上寿の人数	人	名称	単位	ア 喜寿祝金を受け取った人の割合	%	イ 米寿祝金を受け取った人の割合	%	ウ 上寿祝金を受け取った人の割合	%	名称	単位	ア これからも元気で長生きしようと思った人	人	イ		ウ	
名称	単位																																
ア 敬老祝金準備にかかる日数	日																																
イ																																	
ウ																																	
名称	単位																																
ア 喜寿の人数	人																																
イ 米寿の人数	人																																
ウ 上寿の人数	人																																
名称	単位																																
ア 喜寿祝金を受け取った人の割合	%																																
イ 米寿祝金を受け取った人の割合	%																																
ウ 上寿祝金を受け取った人の割合	%																																
名称	単位																																
ア これからも元気で長生きしようと思った人	人																																
イ																																	
ウ																																	

(2) 総事業費・指標等の推移									
	単位	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (実績)	17年度 (見込)	18年度 (目標)	19年度 (目標)	年度 (最終目標)	
投入量	事業費	千円							
	特定財源	千円	4,390	5,670	4,940	3,337			
	一般財源	千円							
	その他	千円							
	事業費計(A)	千円	4,390	5,670	4,940	3,337	0	0	0
	人件費	人	3	2	2	3			
正規職員従事人数	年間			0.0068					
人件費計(B)	千円	0	0	63	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,390	5,670	5,003	3,337	0	0	0	
活動指標	ア 日	10	10	10	10				
	イ								
	ウ								
対象指標	ア 人	135	151	163	168				
	イ 人	38	70	56	77				
	ウ 人	3	4	0	3				
成果指標	ア %	100	100	100	100				
	イ %	100	100	100	100				
	ウ %	100	100	100	100				
上位成果指標	ア 人								
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 社会に貢献した高齢の町民に対し、敬老祝金を贈呈し、その長寿を祝福するとともに多年の労をねぎらい、併せて敬老思想の高揚を図る	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 開始時期はある年齢以上に一律の祝金を支給していたが、現在は節目となる喜寿・米寿・上寿に達する者に支給している。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 特になし	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価			
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由]	3 改革・改善方向の部へ 地域で支え合う福祉社会の実現の施策に結びつく
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input checked="" type="checkbox"/> 手が引ける [理由] <input type="checkbox"/> 手が引けない [理由]	3 改革・改善方向の部へ 一定年齢で支給する祝金は、経済的支援だと思われる。敬老感謝や敬老思想の普及は別の手段でも可能
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [理由] <input type="checkbox"/> 適切である [理由]	3 改革・改善方向の部へ 財源がなければ祝金の縮小や廃止が必要
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 余地がある [原因] <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部へ 成果の維持はあっても向上の余地はないと思われま
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 → 【問題解決策】 → 3 改革・改善方向の部へ	
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある → (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない → [理由]	他に類似事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない → [理由]
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した → 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない → 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】	
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 → 【問題解決策】 → 3 改革・改善方向の部へ	町からの敬老感謝の意及び敬老思想の普及を徹底して行なう
効率性 評価	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由]	対象者数が減らない限り業務所要時間の削減余地はない
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部へ 敬老事業であり受益者負担はない

3 改革・改善方向の部(PLAN)																							
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？ 喜寿77歳、米寿88歳の祝金贈呈を、喜寿77歳の比較のお元氣なうちに1回だけの贈呈にしたほうが、これから先も継続できて公平性が保たれる。また、上寿100歳はそのまま継続とする。																							